

一般社団法人日本地質学会 関東支部 2020 年定例総会議案書

【1号議案】議長

2020 年度関東支部書面総会の議長を松浦一樹会員とする。

【2号議案】2020 年度, 2021 年度の新幹事選挙結果

荒井 良祐 (川崎地質株式会社)、小田原 啓 (神奈川県温泉地学研究所)、笠間 友博 (箱根ジオミュージアム)、加藤 潔 (駒澤大学 総合教育研究部)、金丸 龍夫 (日本大学文学部地球科学科)、木村 克己 (公益財団法人 深田地質研究所)、小松原 純子 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)、澤田 大毅 (石油資源開発株式会社)、下釜 耕太 (株式会社ダイヤコンサルタント)、棚瀬 充史 (株式会社地圏総合コンサルタント)、田村 糸子 (中央大学 経済学部)、富田 一夫 (日鉄鉱コンサルタント株式会社)、廣谷 志穂 (アジア航測株式会社)、方違 重治 (国土防災技術株式会社)、細根 清治、細矢 卓志 (中央開発株式会社)、本田 尚正 (東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科)、向山 栄 (国際航業株式会社)、山本 伸次 (横浜国立大学大学院 環境情報研究院)、米澤 正弘 (渋谷教育学園幕張中学校・高等学校) 以上 20 名。定員内のため無投票にて選出。

【3号議案】2019 年度活動報告

(1) 巡検関係

- ・筑波山地域ジオパーク巡検 2019 年 10 月 20 日 (日), 講師:筑波大学 久田健一郎, 杉原 薫 (敬称略、以下同じ), マイクロバス使用, 参加者 20 人
- ・神津島巡検 2019 年 11 月 30 日 (土) ~12 月 1 日 (日), 共催:首都大火山災害研究センター, 講師:小林 淳 (静岡県富士山世界遺産センター)・村田昌則 (首都大学東京火山災害研究センター)・鈴木毅彦 (同)・西澤文勝 (神奈川県立生命の星・地球博物館), 参加者 14 人 (うちジオガイド 2 人)
- ・(中止)アウトリーチ巡検「チバニアン」2019 年 11 月 24 日 (日) 台風 19 号災害のため延期→2020 年 3 月 22 日 (日) コロナ感染防止のため中止, 講師:岡田 誠 (茨城大学教授)
- ・(中止)大磯丘陵火山灰巡検 2020 年 2 月 16 日 (日) 雨天のため中止, 神奈川県平塚市土屋, 講師:笠間友博 (箱根ジオミュージアム)

(2) シンポジウムなど

- ・シンポジウム「関東のテフラ - 最近の年代観と供給源 -」2020 年 1 月 25 日 (土), 北区北とびあ, 講師 (講演順):小林 淳 (静岡県富士山世界遺産センター), 笠間友博 (箱根ジオミュージアム), 中里裕臣 (農研機構)、中澤 努 (産総研), 田村糸子 (首都大学東京), 水野清秀 (産総研), 鈴木毅彦 (首都大学東京), 参加者 131 人, 協賛:(株)ダイヤコンサルタント, (株)地圏総合コンサルタント, (株)地盤試験所
- ・地質技術伝承会「石油地質分野における unconventional あるいは非石油的な話」
講師:石油資源開発株式会社 横井 悟 技術本部フェロー

協力：(一社) 東京都地質調査業協会、参加者 43 人

- ・共催シンポジウム (主催：筑波山地域ジオパーク推進協議会)

「研究の最前線：中期更新世以降の関東平野北東部の地質と地形発達」, 10 月 19 日 (土) , 茨城県つくば市役所コミュニティー棟第一会議室, 参加者 85 名

(3) フィールドキャンプ

2019 年 8 月 19 日 (月) ~24 日 (土) 千葉県鴨川市東大千葉演習林, 京都大学との共同実施, 協力：石油資源開発株式会社, 株式会社ダイヤコンサルタント, 参加学生 2 人, 修了後 2 名入会

(4) サイエンスカフェ「マンネン×シバハラ×立体地図 (ブラマンネン 2)」

2019 年 6 月 9 日 (日) 15-17 時 (14 時半開場)

Bar de 南極料理人 Mirai 関内駅 (JR 根岸線・横浜市営地下鉄), 参加 27 人, ゲストスピーカー：萬年一剛氏 (神奈川県温泉地学研究所)・芝原暁彦氏 (地球科学可視化技術研究所), ファシリテータ：岡山悠子 (科博 SCA)

- (5) 総会 2019 年 4 月 13 日 (土) 北区赤羽会館, 出席者 33 名 + 委任状 71 名で成立, 活動・会計報告, 活動計画・予算案 承認された

- (6) 支部功労賞 2 件：東京大学千葉演習林、相模原市立博物館

- (7) 幹事会 (月 1 回程度の間隔で実施 4 月 13 日, 5 月 21 日, 6 月 19 日, 7 月 24 日, 9 月 3 日, 10 月 18 日, 11 月 12 日, 12 月 11 日, 1 月 23 日, 2 月・3 月はコロナウイルス感染拡大防止のため中止

(8) 組織

関東支部会員数 (2020 年 4 月 1 日現在) 1449 名 (名誉会員 17 名, 正会員 1432 名 (うち (院生割引) 会員 16 名, 正 (学部割引) 会員 1 名)

地質学会全体の 2019 年度末会員数 3446 名, 年度末退会除籍者数 153 名

(9) 総括

- 1) テフラシンポジウムは過去最大の参加者があった。このように会員サービスにこたえられるような行事を今後も行っていきたい。
- 2) フィールドキャンプで今年度も引き続き若手会員の入会があった。
- 3) 2021 大会に向けて巡検の大枠を決めた。

【4 号議案】2019 年度決算実績報告

表 1 参照

【5 号議案】2020 年度の活動方針

- (1) 2021 年早稲田大会への準備
- (2) 学術的成果の社会への還元
- (3) 会員サービスの充実
- (4) 若手会員の拡大
- (5) 予定行事 (日程はコロナウイルス感染症が収拾後に決定)

- ・房総半島上総層群巡検
- ・アウチリーチ巡検（春日部周辺）
- ・サイエンスカフェ
- ・シンポジウム（テーマ未定）
- ・大磯丘陵テフラ巡検（2019 年中止になったもの）
- ・地質技術伝承会（2020 年 4 月の延期開催を予定）

※フィールドキャンプはコロナウイルス感染の影響により中止が既に決定

【6号議案】予算報告

表 1 参照

表 1 会計

〈2019 年実績〉		円
科目	収入	支出
支部管理費	0	82,084
地質伝承会	0	70,422
筑波巡検	160,000	159,775
神津島巡検	280,000	319,982
清澄 FC	120,000	163,571
テフラシンポ	174,500	171,960
サイエンスカフェ	52,000	57,342
中止行事準備	0	12,410
合計	786,500	1,037,546
本部立替(講師税金)		-7,959
マイナス計上分		243,087

〈2020 年予算〉		円
科目	収入	支出
支部管理費	0	120,000
地質伝承会	0	40,274
上総層群巡検	255,000	253,520
アウトリーチ巡検	60,000	59,937
大磯丘陵巡検	20,000	4,000
シンポジウム	130,000	120,000
サイエンスカフェ	40,000	72,274
合計	505,000	670,005
マイナス計上分		165,005

※マイナス計上分は、地質学会本部会計より補填されます。